



【資料7】

写真提供：星野リゾート

2020年10月23日

National
Parks
of Japan

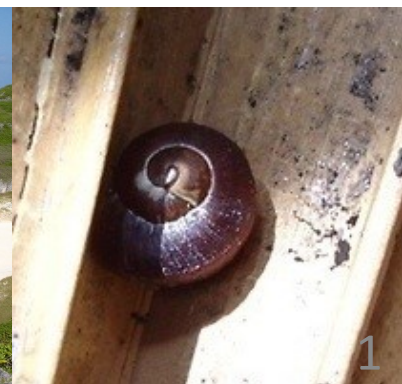


国立公園等における ワーケーションの推進について

環境省 自然環境局 国立公園課



写真提供：Aman



日本の国立公園



知床

～流氷からサンゴ礁まで様々な風景が広がる日本の国立公園～



阿蘇くじゅう



伊勢志摩



十和田八幡平



阿寒摩周



慶良間諸島



霧島錦江湾



日光



大山隠岐

国立公園満喫プロジェクト

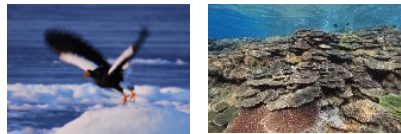
「明日の日本を支える観光ビジョン（2016年3月）」の柱の一つに国立公園が位置づけられる

2016年～ 国立公園満喫プロジェクト開始 【訪日外国人の国立公園利用者数】490万人（2015年）→667万人（2019年）

国立公園の保護と利用の好循環により、優れた自然を守り地域活性化を図る

- ◆ 日本の国立公園のブランド力を高め、国内外の誘客を促進。利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし、自然を満喫できる上質なツーリズムを実現。
- ◆ 地域の様々な主体が協働し、地域の経済社会を活性化させ、自然環境の保全へ再投資される好循環を生み出す。

国立公園を核とした
地域循環共生圏の実現



国立公園の優れた
自然環境

最大の魅力は
自然そのもの

保護

利用

地域資源として
自然の価値向上

地域の産業の活性化
地域の持続的な発展

国立公園の磨き上げ

- ・ 景観改善（廃屋撤去等）
- ・ ビジターセンター等の再整備
- ・ 公共施設の民間開放（カフェ等設置）
- ・ 体験プログラムの充実
- ・ 多様な宿泊サービス充実



国内外へのプロモーション

- ・ 観光協会・企業との連携
- ・ SNSや海外メディアの活用
- ・ 旅行博・商談会の参加
- ・ 旅行会社等との情報交換会の開催



国際観光旅客税の活用による取組の強化

（2019年度～）

- ・ 利用拠点の滞在環境の上質化
- ・ 多言語解説の充実
- ・ 魅力あるコンテンツ充実（野生動物観光／グラビタ／地場産品／ナイトタイム）
- ・ 日本政府観光局サイトへの一括情報サイト設置
- ・ ビジターセンターの機能強化等

国立公園等でのワーケーションの推進

- ✓ 国立公園において、テレワーク時代における、従来型の観光旅行以外の新しい利用価値を提供
- ✓ 地域にとっては新しい需要の取り込み、平日の観光地の活性化が期待（旅行に仕事を持ち込むではなく、長期滞在の実現と自然体験アクティビティなどエコツアーの活用）
- ✓ 豊かな自然の中で「遊び、働く」ことで、参加者にとってはクリエイティブな仕事につながる
- ✓ 地域とリモートワーカーの交流による地域課題の解決や新たなビジネスの創出にも

国立公園等への誘客およびワーケーション推進事業（補正予算22億円）

	申請状況	採択案件
誘客（ワーケーション関連含む）	713件	350件
ワーケーションの推進	396件	128件
ワーケーションの環境整備	78件	23件
合計	1,187件	501件

○自然体験アクティビティ等を行う事業者やDMO（観光地域づくり法人）等に対し、国立公園の誘客のためのエコツアー等の企画・実施および海岸清掃・修景伐採・歩道修繕といったツアー準備を補助

○国立・国定公園、国民保養温泉地のキャンプ場・旅館・ホテル等の事業者、DMO、地域協議会等に対し、ワーケーションツアー等の企画、実施、プロモーション、Wi-Fi等の環境整備を補助

○ワーケーション関連の申請（WiFi環境の整備、モニターツアーの実施、ワーケーション参加者向けのアクティビティ開発等）として合計271件、約9億円を採択

小泉環境大臣もワーケーションを率先実行(磐梯朝日国立公園)



環境省テレワーク実施要領の改定

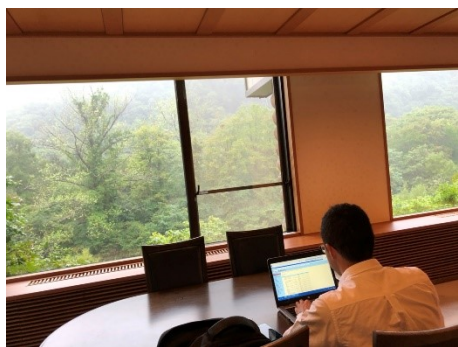
- ✓ 本年7月20日、小泉大臣の指示により、環境省職員によるワーケーションの推進を目指し、以下の通りテレワーク実施要領を各省に先駆け改定。国立公園等においても情報管理が出来る場所に限って対象地に追加

<テレワーク実施場所（実施要領より抜粋）>

職員の自宅及び実家・実方（ただし、業務情報が家族や第三者の目に触れないような場所がある場合に限る。）及び環境省サテライトオフィス利用要領にて定めた場所並びに所属長が承認した場所（ただし、第三者の入退室が制限できる場所が確保できる場合に限る。）（以下「実施場所」という。）とします。



- 係員～課長級まで**10名**以上が全国の国立公園・温泉地でワーケーション。
- **9割**の職員が**モチベーション↑**、**心身健康↑**を実感。
- **7割**の職員が**業務効率↑**、残り3割も登庁時と同程度の効率で勤務。



十和田八幡平国立公園

類型別の感想

文豪型

朝夕温泉、自然に囲まれリラックス

ファミリー型

業務をこなしつつ家族時間を満喫

チームビルディング型

同僚との親密性向上、特定議論に集中

地域協働型

現場の生の声を業務の参考に



阿寒摩周国立公園



吉野熊野国立公園



富士箱根伊豆国立公園

⇒次回は11月2日に実施予定

ワーケーション自治体協議会：長野県の例

白馬村（北アルプス）



八方池



スキー



マウンテンバイク



テレワーク拠点
(hakuba share)

駒ヶ根市（中央アルプス）



千畳敷カール



千畳敷

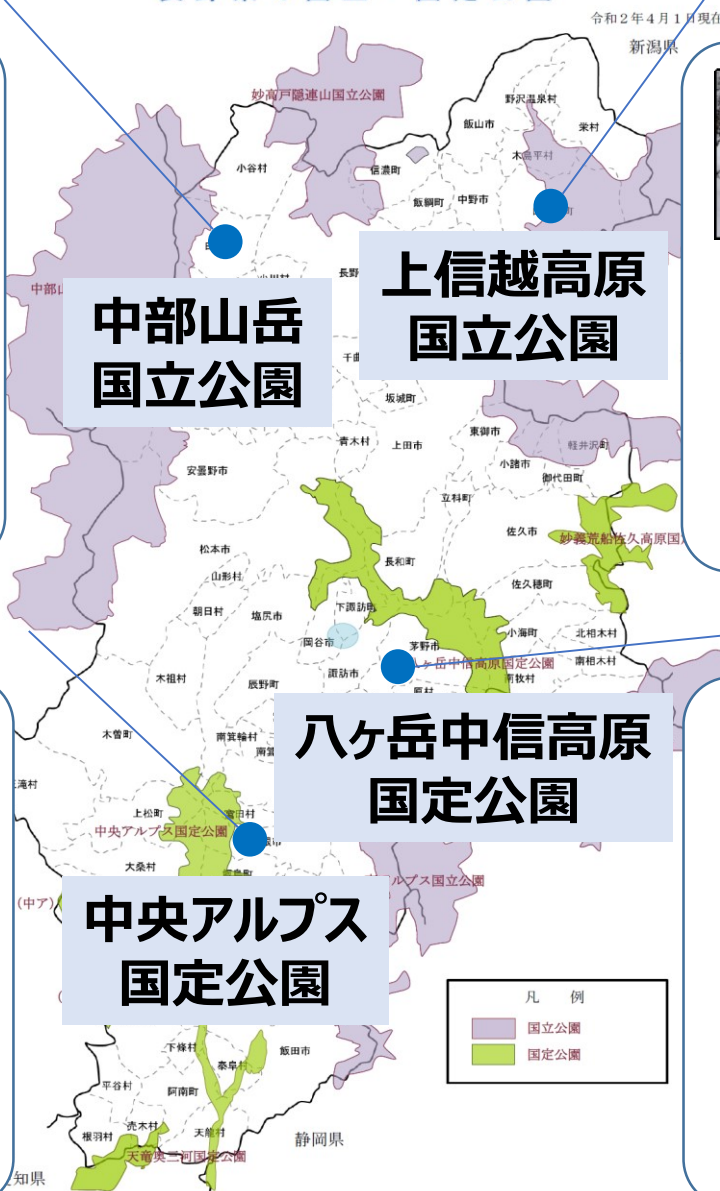


宝積山 光前寺



テレワーク拠点
(ぱとな)

長野県の国立・国定公園



山ノ内町（志賀高原）



スキー



紅葉

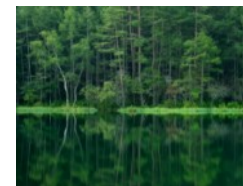


マウンテンバイク

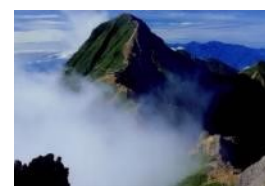


コワーキングスペース
hiroen

茅野市（八ヶ岳）



御射鹿池



八ヶ岳



車山



コワーキングスペース
ワークラボ八ヶ岳